

平成26年度

下野市

図書館評価報告書

2015年7月

下野市立図書館協議会

目 次

1. はじめに	
(1) 趣 旨	1
(2) 図書館評価の対象と評価方法について.....	2
2. 内部評価集計.....	3
3. 外部評価集計.....	4
4. 図書館協議会委員による意見.....	5
5. 図書館協議会委員による総評.....	7
6. 図書館協議会委員名簿.....	10
7. 図書館協議会会議の開催	10
関係資料 (事業評価シート)	

1. はじめに

(1) 趣旨

今、図書館には従来の書籍などの資料を貸し出すことに加えて、市民の生涯学習の促進や地域が抱える様々な課題解決の支援、地域の実情に応じた情報提供サービスなど幅広い観点から社会に貢献することが求められています。

本市では、平成25年度から、民間のノウハウを図書館運営に反映するため、石橋・国分寺図書館に指定管理者制度が導入され、直営館の南河内図書館とともに市立図書館の運営理念である「市民の豊かな心の育成と地域文化の向上」をめざし、地域に開かれた効率的な図書館運営に努めてきました。

平成20年の図書館法改正と平成24年度の公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正により、図書館評価の実施が努力義務になったことを踏まえ、本年度から、県内各図書館に先駆け、平成26年度事業を対象に図書館評価を行い、その結果をとおして今後の図書館運営の改善等に繋げ、さらなる向上を図ってまいります。

図書館評価に関する法令・基準の抜粋

◎図書館法

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

◎公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成24年12月19日 文部科学省告示第172号)

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。

2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

(2) 図書館評価の対象と評価方法について

下野市立図書館設置条例に規定されるすべての図書館の運営及びサービス全般を対象とし、各図書館長による内部評価と市民の代表者である図書館協議会による外部評価を実施いたしました。今回の評価結果に基づく課題の改善点などを所見としてまとめ、翌年度以降の事業に反映することといたしました。

評価方法については、5つの大項目と16の中項目に分類したうえで、36の小項目を定め、「中期的計画」・「単年度目標」を評価指標とし次の評価基準で評価いたしました。

小項目

評 価	評価内容及び基準
A=100%	計画通り事業を実施し、目標水準を超える成果がある。
B=75%	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしている。
C=50%	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしているが、一部に課題がある。
D=0%	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

中項目・大項目評価（各評価の配点に乗じて採点）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。 (評価点の小計が配点の80%以上)
B	当該分野について、概ね適正である。 (評価点の小計が配点の60%以上)
C	当該分野について、改善が必要である。 (評価点の小計が配点の40%以上)
D	当該分野について、相当な改善が必要である。 (評価点の小計が配点の40%未満)

総合評価（内部評価と外部評価の合計点の平均値）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。(平均値の合計80点以上)。
B	当該分野について、概ね適正である。 (平均値の合計60点以上)
C	当該分野について、改善が必要である。(平均値の合計40点以上)
D	当該分野について、相当な改善が必要である。 (平均値の合計40点未満)

2. 内部評価集計

大項目	中項目	小項目	南河内			石橋			国分寺						
			評価	点数	合計	評価	点数	合計	評価	点数	合計				
I 目 適 指 正 す か つ 効 率 的 な 運 営 を	1. 市立図書館のはたすべき役割と理念に基づく図書館運営	1. 運営規則に基づいた業務の実施	A	2	18.25 /20点 評価 A	A	2	19.5 /20点 評価 A	A	2	19.5 /20点 評価 A				
		2. 「図書館の自由に関する宣言」に則した運営	A	2		A	2		A	2					
		3. 計画的な図書館施設整備の検討・運営	A	2		A	2		B	1.5					
	2. 市民ニーズや時代に適した図書館運営	1. アンケートの実施	B	2.25		19.5 /20点 評価 A	A		3	19.5 /20点 評価 A		A	3	19.5 /20点 評価 A	
		2. 経費節減への取組 (ア)独自財源の確保	C	1			B		1.5			A	2		
		(イ)ランニングコストほか	A	2			A		2			A	2		
	3. 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成	1. 職員の構成	A	2		19.5 /20点 評価 A	A		2	19.5 /20点 評価 A		A	2	19.5 /20点 評価 A	
		2. 人材育成	A	2			A		2			A	2		
	II 社 会 教 育 施 設 と し て の 図 書 館	1. 市民に親しまれる図書館	1. 利用者の拡大	A		3	34 /36点 評価 A		A	3		36 /36点 評価 A	A	3	36 /36点 評価 A
2. 職員の市民対応			A	3	A	3		A	3						
2. 市民にとって魅力的な資料の収集		1. 資料の収集	A	3	34 /36点 評価 A	A		3	36 /36点 評価 A	A	3		36 /36点 評価 A		
		2. 雑誌・新聞の収集	A	2		A		2		A	2				
3. 市民の要望に応じた資料提供		1. 資料貸出サービス	B	3	34 /36点 評価 A	A		4	36 /36点 評価 A	A	4		36 /36点 評価 A		
		2. リクエストサービス	B	3		A		4		A	4				
		3. 延滞資料への対応	A	4		A		4		A	4				
4. 市民が求める情報の提供		1. レファレンス・サービスの利用促進	A	3	34 /36点 評価 A	A		3	36 /36点 評価 A	A	3		36 /36点 評価 A		
		2. レファレンス資料とツールの充実	A	2		A		2		A	2				
		3. 利用者支援(図書館入門講座)	A	2		A		2		A	2				
5. 生涯学習の支援		1. 図書館を拠点とした市民活動の支援	A	3	34 /36点 評価 A	A		3	36 /36点 評価 A	A	3		36 /36点 評価 A		
		2. 講座・講演会による学習の提供	A	3		A		3		A	3				
III 誰 も が 利 用 で き る 図 書 館		1. 子どもの読書環境の整備支援	1. 「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」	A	2	15.5 /16点 評価 A		A	2	15.25 /16点 評価 A	A		2	16 /16点 評価 A	
			2. おはなし会	B	1.5			A	2		A		2		
			3. 「みんなで読もう、子どもの本」	A	2			A	2		A		2		
	2. 学校・学校図書館との連携	1. 学校図書館支援	A	2	15.5 /16点 評価 A		A	2	15.25 /16点 評価 A		A	2	16 /16点 評価 A		
		2. 職場体験	A	2			A	2			A	2			
	3. 高齢者や障がい者の利用促進	1. 高齢者サービス	A	3	15.5 /16点 評価 A		A	3	15.25 /16点 評価 A		A	3	16 /16点 評価 A		
		2. 障がい者サービス	A	3			B	2.25			A	3			
IV 図 に 市 書 歩 民 と も と も	1. 図書館に対する参画の推進	1. 図書館協議会への諮問	A	3	13 /13点 評価 A	A	3	13 /13点 評価 A	A	3	13 /13点 評価 A				
		2. 市民との協働事業の企画・運営	A	4		A	4		A	4					
	2. 読書活動に関わる市民に対する支援	1. 地域団体等への読書支援	A	3		13 /13点 評価 A	A		3	13 /13点 評価 A		A	3	13 /13点 評価 A	
		2. ボランティアへの援助・育成	A	3			A		3			A	3		
V を 果 た し す 施 設 の 機 能 を 高 め る 図 書 館	1. 図書館のPR	1. 図書館サービスの市民へのPR	B	2.25	14.25 /15点 評価 A	A	3	14.25 /15点 評価 A	A	3	14.25 /15点 評価 A				
		2. 図書館サービスの行政内部へのPR	A	3		B	2.25		A	3					
	2. 快適で、居心地の良い施設環境	1. 危機管理・リスクマネジメント	A	3		14.25 /15点 評価 A	A		3	14.25 /15点 評価 A		A	3	14.25 /15点 評価 A	
		2. 快適で、居心地の良い施設環境	A	3			A		3			B	2.25		
	3. 市民にとって使いやすい施設	1. 開館日・開館時間等の改善	A	3		14.25 /15点 評価 A	A		3	14.25 /15点 評価 A		A	3	14.25 /15点 評価 A	
			A	3			A		3			A	3		
平成26年度 内部評価 合計点数 評価			95.00 A			98.00 A			98.75 A						

3. 外部評価集計

大項目	中項目	小項目	南河内			石橋			国分寺						
			評価	点数	合計	評価	点数	合計	評価	点数	合計				
I 目 適 指 正 す か つ 効 率 的 な 運 営 を	1. 市立図書館のはたすべき役割と理念に基づく図書館運営	1. 運営規則に基づいた業務の実施	B	1.5	14.5 /20点 評価 B	B	1.5	15 /20点 評価 B	B	1.5	15 /20点 評価 B				
		2. 「図書館の自由に関する宣言」に則した運営	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
		3. 計画的な図書館施設整備の検討・運営	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
	2. 市民ニーズや時代に適した図書館運営	1. アンケートの実施	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
		2. 経費節減への取組 (ア)独自財源の確保	C	1		B	1.5		B	1.5					
		(イ)ランニングコストほか	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
	3. 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成	1. 職員の構成	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
		2. 人材育成	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
	II 社 会 教 育 施 設 と し て の 図 書 館	1. 市民に親しまれる図書館	1. 利用者の拡大	B		2.25	28.75 /36点 評価 B		B	2.25		27 /36点 評価 B	B	2.25	27 /36点 評価 B
			2. 職員の市民対応	B		2.25			B	2.25			B	2.25	
2. 市民にとって魅力的な資料の収集		1. 資料の収集	B	2.25	B	2.25		B	2.25						
		2. 雑誌・新聞の収集	B	1.5	B	1.5		B	1.5						
3. 市民の要望に応じた資料提供		1. 資料貸出サービス	B	3	B	3		B	3						
		2. リクエストサービス	B	3	B	3		B	3						
		3. 延滞資料への対応	A	4	B	3		B	3						
4. 市民が求める情報の提供		1. レファレンス・サービスの利用促進	A	3	B	2.25		B	2.25						
		2. レファレンス資料とツールの充実	B	1.5	B	1.5		B	1.5						
		3. 利用者支援(図書館入門講座)	B	1.5	B	1.5		B	1.5						
5. 生涯学習の支援		1. 図書館を拠点とした市民活動の支援	B	2.25	B	2.25		B	2.25						
		2. 講座・講演会による学習の提供	B	2.25	B	2.25		B	2.25						
III 誰 も が 利 用 で き る 図 書 館		1. 子どもの読書環境の整備支援	1. 「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」	B	1.5	12 /16点 評価 B		B	1.5	12 /16点 評価 B	B		1.5	12 /16点 評価 B	
			2. おはなし会	B	1.5			B	1.5		B		1.5		
			3. 「みんなで読もう、子どもの本」	B	1.5			B	1.5		B		1.5		
	2. 学校・学校図書館との連携	1. 学校図書館支援	B	1.5	B		1.5	B	1.5						
		2. 職場体験	B	1.5	B		1.5	B	1.5						
	3. 高齢者や障がい者の利用促進	1. 高齢者サービス	B	2.25	B		2.25	B	2.25						
		2. 障がい者サービス	B	2.25	B		2.25	B	2.25						
IV 図 に 市 民 と と も	1. 図書館に対する参画の推進	1. 図書館協議会への諮問	B	2.25	10.5 /13点 評価 A	B	2.25	9.75 /13点 評価 B	B	2.25	9.75 /13点 評価 B				
		2. 市民との協働事業の企画・運営	B	3		B	3		B	3					
	2. 読書活動に関わる市民に対する支援	1. 地域団体等への読書支援	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
		2. ボランティアへの援助・育成	A	3		B	2.25		B	2.25					
V を 果 た し た 図 書 機 能	1. 図書館のPR	1. 図書館サービスの市民へのPR	C	1.5	10.5 /15点 評価 B	B	2.25	10.5 /15点 評価 B	B	2.25	11.25 /15点 評価 B				
		2. 図書館サービスの行政内部へのPR	B	2.25		C	1.5		B	2.25					
	2. 快適で、居心地の良い施設環境	1. 危機管理・リスクマネジメント	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
		2. 快適で、居心地の良い施設環境	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
	3. 市民にとって使いやすい施設	1. 開館日・開館時間等の改善	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
	平成26年度 外部評価 合計 点数 評価			76.25 B			74.25 B			75.00 B					

4. 図書館協議会委員による意見

(1) 南河内図書館

- ・アンケートを実施し、市民ニーズを把握することはよい。毎年実施、把握したニーズを図書館運営に反映してほしい。
- ・各講座とタイアップしての資料の提供はよいことだと考える。ますますの充実を望む。
- ・おはなし会は、楽しく根気強く進めることが定着への一歩。PRも忘れずに実施してほしい。
- ・資料貸出の増大は、各図書館の蔵書構成により異なると考えるが、リクエストや予約サービスのPRとカウンターでの直接の声掛けなど努めてほしい。
- ・庁舎解体工事に伴う騒音・駐車場の問題等条件が悪い中での努力は評価するが、結果が出せないのは残念である。
- ・変動的な図書館運営をしているが、2階行政への来館者も図書館利用者となるよう工夫してほしい。
- ・大人の利用者へのサービスの拡大にも取り組んでほしい。
- ・新聞雑誌の閲覧コーナーが分かりづらい。
- ・「図書館の自由に関する宣言」に対する職員の周知や理解を深めるための研修が必要である。利用者の目に付くところに掲示することはよい。
- ・「雑誌スポンサー制度」のPRの強化を期待する。
- ・館内のディスプレイが工夫されている。
- ・館内南側が他館に比べ暗い感じがした。貸出に影響するのではないか。

(2) 石橋図書館

- ・静かに読書できる雰囲気がある。
- ・独自財源の確保に努力していることはよいことである。
- ・自館の特色を生かした資料の収集に努めてほしい。
- ・安定的な人材確保を望む。
- ・アンケートはますます重要になってくるので、積極的な対応を望む。
- ・自館の特性を踏まえた育成を望む。
- ・職員の対応に、笑顔が少ないように感じる。
- ・説明の際の声を大きく、数値などを使って詳しく説明してほしい。
- ・オープンカフェ的なスペースを考えてみては。

- ・貸出冊数の増加は大変良いことである。更なる目標の設定を望む。
- ・市街地にあつては、開館時間・閉館時間は妥当だと思う。
- ・入り口付近の展示は利用者の興味を引きつけ、よい考えである。
- ・延滞者を減少させたとあるが、延滞者の実情が明らかでない。
- ・職員全員でレファレンス内容を共有することは、大変良い。
- ・市民の関心のある事柄について講座等に積極的に取り入れ実践することはよい。
- ・講座開催の時、図書館の利用案内も合わせて行ってもよいのではないか。

(3) 国分寺図書館

- ・市民ニーズ把握のためのアンケート実施はよいことである。
- ・対象者のニーズを掘り起こしてほしい。たとえば、宅配サービス・返却回収サービスなどがある。
- ・直営館と連絡を密にすることは重要である。
- ・できれば全員が司書資格者が好ましい。
- ・安定的な人材確保を望む。
- ・自館の特性を踏まえた育成を期待する。
- ・特色を生かした資料の収集を行ってほしい。
- ・利用者の問い合わせに丁寧、的確な対応ができるよう日頃から研鑽してほしい。
- ・イベントを積極的にやっていることはよいことだ。
- ・テーマコーナーが充実している。
- ・市民1人当たりの貸し出し点数を具体的に設定することも必要である。
- ・イベントに参加した子供たちが、図書館の利用者・理解者となることを信じてわかりやすい案内を望む。
- ・ボランティアグループの掲示を目につきやすい場所にしてほしい。
- ・学校への団体貸出をより強化してはどうか。
- ・他の2館と協力し合いより多くの雑誌・新聞の収集を望む。
- ・視聴覚室を使用したコンサート等は普段図書館を利用していない市民も参加するため、これを機に利用者の拡充に繋がり必要なことである。
- ・CD・DVDはレンタル業者とは違った視線での、選定をし、充実している。
- ・2階が主体なので、バリアフリーが必要である。
- ・乳幼児向け冊子の活用を期待する。

5. 図書館協議会委員による総評

(1) 南河内図書館

- ・南河内庁舎取り壊し工事による駐車場不足で利用者数が多少減少したが、貸出冊数において25年度を上回ることができたことは、一定の成果であると評価する。
- ・公民館に隣接するという利点を生かして、公民館の各部屋を借用し、ボランティア団体によるお楽しみ会や公民館講座とタイアップし、講座に添った図書資料の情報提供など相互に利用者の交流が図れるようにすることは良い試みである。

<課題>

- ・直営館として、子どもの読書環境の整備支援や学校・学校図書館との連携をさらに密にすることを望む。
- ・高齢者や障がい者の利用促進のため、PRが積極的ではなかったことは更なる改善点として取り組む必要がある。
- ・今後も、図書館ボランティア団体の活動支援やボランティア養成講座の継続により、ますます地域との協働を進めるなど、直営館としての重要な役割を十分に発揮されることを期待する。

(2) 石橋図書館

- ・利用者数・貸出冊数とも増加しているが、利用者数については上半期若干減少傾向にあった。
- ・文学講座等継続的な講座や地域を知るための下野学講座等特色ある講座を展開し、図書館新規利用者の拡大を図り、下半期は増加に転じたことは評価できる。
- ・静かに読書ができる雰囲気・環境が整い、コーナー展示も工夫されており、利用者増に繋がっている。
- ・自動販売機を設置し、収益金を必要備品購入等にあて、利用者の利便性の向上に繋がっている。

<課題>

- ・自館の特性を生かした地域資料の収集と安定的な人材の育成を望む。

(3) 国分寺図書館

- ・民間のノウハウを生かした各種イベントや講座、ディスプレイを工夫するなど、来館者に向けて活気ある図書館のイメージを作り出し、それに比例して貸出冊数も2年連続増加しており、評価に値する。

<課題>

- ・学校図書館への貸し出しの方法や、弱者ニーズの掘り起しなどにも創意工夫が必要である。
- ・今後も、自治医大との連携等、自館の特性を生かした図書館運営の推進が必要である。

(4) 全図書館

<評価の概要>

館名	内部評価		外部評価		総合評価	
南河内図書館	95 ／100 点	A	76.25 ／100 点	B	85.625 ／100 点	A
石橋図書館	98 ／100 点	A	74.25 ／100 点	B	86.125 ／100 点	A
国分寺図書館	98.75 ／100 点	A	75 ／100 点	B	86.875 ／100 点	A

<課題>

- ・南河内図書館は、直営館としての特色を生かし、子どもの読書環境の整備支援や学校・学校図書館との連携、高齢者や障がい者の利用促進のためのPRに取り組む。
- ・石橋図書館は、自館の特性を生かした地域資料の収集と安定的な人材育成をする。
- ・国分寺図書館は、学校図書館への貸し出し方法や弱者ニーズの掘り起こしの創意工夫と、自治医大との連携等、自館の特性を生かした図書館運営を推進する。
- ・市民ニーズに合わせた3館の取り組みを望む。

<総評>

- 各図書館とも内部評価は、目標水準を超える成果をあげることができたと評価しているが、図書館協議会の外部評価は、各分野において概ね適正な運営がされていると評価する。
- 直営館の統括・指導のもと、指定管理館2館が各分野において、おおむね適正な運営がなされている。
- 運営形態が異なる中でそれぞれの特徴を生かしながら、直営館を中心にそれぞれの図書館で特色あるサービスが行われ、一定の成果を上げることができた。
- 今回の外部評価は初めての試みだったが、外部評価者として図書館評価を実施することは、図書館の置かれている現状を知るとともに図書館活動に対する理解を深め、今後求めるべき図書館の姿を提起するためにも大変有益なものであった。
- 図書館協議会として評価基準の見直し等も含め、適正な評価に努めていく。

6. 図書館協議会委員名簿

氏 名	所 属 等
有野 一夫	学識経験者
青木 ムツミ	学識経験者
平出 文子	学識経験者
城鳥 律子	南河内図書館ボランティア
石井 幸代	石橋図書館ボランティア
下山 千恵子	国分寺図書館ボランティア
高木 智子	公募委員
武子 保	公募委員
館野 正治	国分寺西小学校長
上野 保久	南河内第二中学校長

7. 図書館協議会会議の開催

図書館協議会は、図書館法第14条及び下野市立図書館設置条例に基づき設置されています。図書館評価については次のとおり開催いたしました。

開 催 日	会 議 内 容
平成27年5月7日（木）	内部評価のプレゼンテーション
平成27年5月20日（水）	外部評価実施について
平成27年6月17日（木）	評価結果報告について
平成27年7月17日（金）	評価結果の確認について
平成27年8月11日（火）	評価結果の公表について

関係資料（事業評価シート）